



若竹だよい



- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切に作る人間となろう
 ③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

分校化に向けて

園長 宮竹 恒

6月に入り小学校・中学校の分校化に向け、これまで子どもたちが通っていた分級校舎の解体工事が始まりました。5月中に分教室は、学園内に設けた臨時の教室に引っ越ししました。子どもたちは、机や椅子を運ぶなどの手伝いをしました。

学園の分級は、平成10年4月1日に高松市立下笠小学校・中学校の施設内学級として設置されました。平成19年3月27日、2階建てのプレハブ校舎に改築しました。

プレハブ校舎には、これまで学園で生活していた子どもたちの思い出が詰まっています。

日々の学習だけでなく、始業式・終業式・卒園式などの節目の時、夏祭りやクリスマス会などの楽しい時間など、これまで学園で生活してきた子どもたちの記憶に残っていることと思います。

7月には、新しい建物の工事が始まります。分校化は、「子どもたちにより良い教育環境を提供したい」という、長年の願いであり、多くの方の厚いご支援の結果です。

子どもたちも新しい校舎が出来るのを楽しみに待っています。

工事期間中、保護者の皆さまを始め、関係機関の皆様にご不便をお掛けすることもあると思いますが、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

—了—

社会福祉法人四恩の里決算報告

令和3年度 事業活動収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日（単位：円）

| 勘定科目 | 決算額 |
|----------------------|-------------|
| 児童福祉事業収益 | 427,895,828 |
| 経常経費寄附金収益 | 2,899,183 |
| サービス活動収益計① | 430,795,011 |
| 人件費 | 265,884,376 |
| 事業費 | 65,064,346 |
| 事務費 | 32,627,797 |
| 減価償却費 | 40,330,105 |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額 | -20,256,944 |
| サービス活動費用計② | 383,649,680 |
| サービス活動増減差額③(①-②) | 47,145,331 |
| サービス活動外収益計④ | 4,068,750 |
| サービス活動外費用計⑤ | 3,166,863 |
| サービス活動外増減差額⑥(④-⑤) | 901,887 |
| 経常増減差額⑦(③+⑥) | 48,047,218 |
| 特別収益計⑧ | 15,872,873 |
| 特別費用計⑨ | 15,472,878 |
| 特別増減差額⑩(⑧-⑨) | 399,995 |
| 当期活動増減差額合計⑪(⑦+⑩) | 48,447,213 |
| 前期繰越活動増減差額⑫ | 467,649,564 |
| 当期末繰越活動増減差額⑬(⑪+⑫) | 516,096,777 |
| 基本金取崩額⑭ | 0 |
| その他の積立金取崩額⑮ | 24,089,034 |
| その他の積立金積立額⑯ | 68,000,000 |
| 次期繰越活動収支差額⑰(⑬+⑭+⑮-⑯) | 472,185,811 |

令和3年度 貸借対照表

令和4年3月31日現在（単位：円）

| 資産の部 | | |
|-------------|--|---------------|
| 流動資産 | | 148,638,632 |
| 基本財産 | | 935,499,800 |
| その他の固定資産 | | 318,686,055 |
| 資産の部計 | | 1,402,824,487 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | 56,689,444 |
| 固定負債 | | 23,079,013 |
| 負債の部計 | | 79,768,457 |
| 純資産の部 | | |
| 基本金 | | 114,373,888 |
| 国庫補助金等特別積立金 | | 477,176,652 |
| その他の積立金 | | 259,319,679 |
| 次期繰越活動収支差額 | | 472,185,811 |
| 純資産の部計 | | 1,323,056,030 |
| 負債及び純資産の部合計 | | 1,402,824,487 |

令和3年苦情・要望件数

| | | | |
|---|-------|---|---------------|
| 1 | 受付件数 | 総数：48件(内訳：苦情12件・要望36件) | |
| 2 | 受付方法 | 苦情ボックスを以下に設置 (亀山学園玄関・各ユニット・和みの家玄関・まどかの家玄関) | |
| 3 | 苦情申出人 | 利用者：16名(延人数) | |
| 4 | 内 容 | 職員の接遇に関すること | 要望：2件 |
| | | サービスの質や量 | 苦情：1件・要望：23件 |
| | | 児童間での問題に関すること | 苦情：10件・要望：11件 |
| | | その他 | 苦情：1件 |

青峰・若竹学級だより 6月

教室の引っ越し

プレハブ校舎が解体されることになり、若竹学園1階に学習場所を移動しました。各自の机や椅子はもちろん、授業で使う教具や図書などを協力して運びました。どの子も、指示されたこと以外にもできることを見つけて一生懸命活動しました。



移転先でも、工事の音に負けず、落ち着いて過ごすことができます。



グミの実

グミの実を収穫しました。できるだけ赤く熟している実を選んで採りそのまま食べたり、ジャムにしたものを試食したりしました。



一人一台端末で学習

学習の様々な場面で GIGA 端末の使用が見られます。この日の外国語の授業では、「X」や「Z」などのアルファベットに見えるものを見付け、端末で撮影・加工して紹介し合いました。



校外学習



国立療養所大島青松園に行きました。事前にハンセン病の歴史や現状、課題などについて学習し、当日の見学も真剣な態度で臨んでいました。直接お話を聞いたり、質問に答えていただいたりする場面では、メモを取りながら熱心に学んでいました。また、砂浜やフェリーから瀬戸内海の眺めを楽しむこともできました。



紙上発表に向けて、現地で調べたことやお聞きしたこと、感じたことをまとめています。



6月12日、雨のため外で遊べない子どものために、職員が一丸となって、子どもにドッキリで若竹祭り企画しました。

第一部は、昼食に子どもたちが好きなハンバーガーやそば飯、ポテトなどの出店をしました。色々な美味しい物に目を奪われて、子どもたちが楽しそうに出店を回っていました。

朝から炭をおこして鉄板で焼いたそば飯は、香ばしくて炭の香りが漂う美味しい仕上がりになりました。子ども達も夢中で食べていました。

ハンバーガーを食べながら、コーラを飲んでいるアメリカンスタイルを見せけている子どももおり、その豪快な姿を見て、真似をしました。



第二部は、2階フロアや階段を利用して射的やダーツなどの出店をしました。子どもたちは自由にお店を回りながら、楽しんでいました。



また沢山の色で水面が埋め尽くされたスーパーボールを夢中で取っている姿も見受けられました。

楽しい時間は、アツト言う間に過ぎてしまいました。第2弾を企画しています。

地引網体験

さらスポーツクラブの方からご招待を受け、6月18日、津田の松原の海岸で地引網体験をしました。



海岸に出て網を皆で力一杯引っ張りました。海岸から網が近くなるにつれて、ワクワクもあれば本当に入っているのか不安もありましたが、皆が期待を寄せて網の先に目線を送ると、想像よりも大漁で、思わず表情が綻びました。





網には大きなハマチや蛸等も入っていました。取れた魚を触ってみよう！と声をかけると最初は「えー。どうしよう。」と迷う子もいました。



たこ焼きで馴染みの凧は人気で、実際に動いているのを見る子も多く、「え、これがたこ焼きに入っているん!？」

と驚いていました。

取れたハマチをボランティアの方が捌いて見せてくれました。俊敏な手捌きに見入ってしまいました。



レクリエーションでは、ペットボトルボーリング等を企画して頂いており、子どもたちは思いっきり楽しんでいました。

ボランティアの中には、高校生の方もおり、高校生活や趣味の話を聴く事ができ、良い交流の機会にもなりました。ボランティアの

方とのお別れを惜しむ子どもも多く、思い出の1ページになりました。

職員・子ども共に、地引網は体験した事が無く、貴重な経験をさせて頂きました。

さらスポーツクラブの皆様方、ボランティアの皆さんこの度はありがとうございました。

地引網で捕れたお魚さんたちは、塩焼きにして美味しく頂きました。

6月行事

| | |
|-----|-------|
| 12日 | 若竹縁日 |
| 18日 | 地引網体験 |
| 19日 | おやつ作り |
| 27日 | 買物外出 |

在籍人数

令和4年7月1日現在

| 区分 | 県内(人) | 県外(人) | 合計(人) |
|-----|-------|-------|-------|
| 小学生 | 2 | 1 | 3 |
| 中学生 | 8 | 1 | 9 |
| 合計 | 10 | 2 | 12 |

編集後記

短い梅雨が明け、日増しに暑さを感じる時期になってきました。暑さに負けず、若竹学園らしく一日一日を大事に過ごしていきたいです。

井上

第339発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

